

募集人員：修士課程 15 名／博士後期課程 2 名 | 開講形態： **昼夜も開講** | キャンパス：市ヶ谷
主な進路：教育関係、情報通信、公務員、出版関係など

世界・人間・真理…。 知の根源から知の最先端を問い返す。

古代ギリシア哲学、近代ヨーロッパ（ドイツ・フランス・イギリス）哲学、現代哲学（解釈学・生の哲学・言語哲学・科学哲学など）、論理学といった西洋哲学の主要分野をカバーした科目群を設置しています。

社会人学生を含む院生の多様な問題関心に応えるため、11 名の専任教員を有し、哲学の基礎から最先端までの研究ができる体制を整えています。また、各院生がそれぞれの研究目的に従って柔軟な学習計画を立てることができる昼夜開講制も特長です。

留学制度や海外の大学との連携も充実しています。EU（ヨーロッパ連合）のエラスムス・ムンドゥス・プログラム（EU 諸国および EU 域外の諸国の認定大学院を活動の場とした、教員・院生の国際研究プログラム）に連携した授業も展開しています。

アドミッション・ポリシー

（学生の受け入れ方針）

本学出身者、他大学出身者を問わず、また他分野・他領域出身者、社会人であることを問わず、哲学研究への意欲と一定の学力を有する者に、広く門戸を開いている。そのような意欲と能力のある入学生を、多方面から選抜するために、以下の試験を課している。

1.2 力国語の外国語試験（社会人入試では課さない）／2. 専門科目試験（専門課題に対する小論文）／3. 専門科目試験（専門用語解説）／4. 面接（本専攻課程を担当するすべての専任教員により行う）

カリキュラム・ポリシー

（教育課程の編成・実施方針）

古代哲学から近・現代哲学に至るまでの関連する幅広い教育課程を編成する。また、指導教員による研究指導に加え、定例の研究発表会（修士課程、博士後期課程）を開催し、本専攻課程を担当するすべての教員による指導も行う。修士課程には、社会人院生、他分野・他領域からの入学者のための科目も設置。博士後期課程には、研究能力の向上と課程博士の学位取得を目指して、指導教員による綿密な指導を行い、上記の定例の研究発表の義務を課している。

ディプロマ・ポリシー

（学位授与の方針）

修士課程の学位は、専門知識や研究能力を習得し、修士論文の作成を所定の年限に果たした者に授与する。認定は同課程の全専任教員の合議による。博士後期課程の学位は、さらなる知識や能力の習得と、国際的水準の論文の作成を所定の年限に果たした者に授与する。認定は人文科学研究科教授会の決定による。論文博士もこれに準ずる。

研究室紹介 | 「正しい社会」の条件は？ 「正しいルール」の根拠とは？

内藤准教授 | 「利己的」人間観に基づく規範理論研究

立憲的憲法をはじめとする社会的な規範や制度の正当化根拠を探る研究を進めています。授業では、自由の尊重を最重要視するリベタリアニズムの代表的理論家であるジャン・ナヴィグソンの論考を精読しながら、社会や国家としてどういうあり方が、いかなる根拠で正当化されるかを議論しています。人間の本性や自然状態についての古典的な議論を踏まえつつ、ゲーム理論、進化理論などの現代的な知見も取り込んだ多角的な検討を行っており、受講生には、広い視野に立って学問的な洞察を深めてほしいと思います。



Voice



修士課程 在学中
関口 貴太

【研究テーマ】後期フッサル現象学における地平志向性概念の意義について

さまざまな外国語の語学力を習得し、 多様な視点から学職を深めることができます

学んだこと、身に付いたこと

哲学専攻は、基本的に原典読解です。それゆえ、英語やドイツ語、フランス語の読解を必要とするために、まず語学力が身に付いたと思います。また大学院では、自分とは異なる分野を研究している人もおり、さらに哲学専攻では社会人の方も多数在籍しています。そのため、多様な視点から学識を深めることができました。この二つのことは、研究活動に深さと広さをもたらします。

将来の目標

将来の目標は、修士課程での研究をさらに続けていきたいと考えています。本大学院には、博士課程も付設されており、進学も視野に入れています。また、教員免許の専修免許も取得できるため、その道も考えています。いずれにしても、大学院において学んだテキスト読解や討論による多面的思考ということは、私の将来の展開に寄与してくれるものであると思います。

■専任教員と担当科目（2016 年度）※年度により授業を持たない場合があります。 専 専門領域 研 研究テーマ 担 担当科目

安孫子 信 教授 専 フランス哲学・フランス思想史

研 人間と科学技術、オーギュスト・コント、ベルクソン研究

担 科学哲学研究Ⅰ 1・2/Ⅱ 1・2

奥田 和夫 教授 専 古代ギリシア哲学

研 現在の持続的テーマはプラトンの政治哲学

担 古代哲学史研究Ⅰ 1・2

酒井 健 教授 専 ジョルジュ・バタイユ研究、ゴシック文化史、西洋美術史

研 ジョルジュ・バタイユ研究、芸術論、西欧美術史

担 近代フランス哲学史研究Ⅰ 1・2/Ⅱ 1・2 哲学フランス語研究 1・2

中釜 浩一 教授 専 言語哲学・科学哲学

研 言語哲学・科学哲学・イギリス経験論

担 言語分析哲学研究Ⅰ 1・2

牧野 英二 教授 専 哲学・倫理学・感性学

研 多元主義的立場や可謬主義的立場から、
超越論哲学と解釈学との関係をめぐる従来の見解に対する批判的再検討

担 超越論哲学研究Ⅰ 1・2/Ⅱ 1

内藤 淳 准教授 専 法哲学

研 人権や憲法の基礎についての研究、進化心理学に基づく人間本性の研究

担 法哲学研究 1・2

安東 祐希 教授 専 数理論理学（証明論）

研 古典論理や様相論理の体系における標準化定理

担 論理学研究Ⅰ 1・2

笠原 賢介 教授 専 ドイツ近・現代思想、比較文化

研 20 世紀ドイツ哲学・思想、18 世紀ドイツ思想、近代日本思想の再検討

担 比較思想研究Ⅰ 1・2 哲学ドイツ語研究 1・2

菅沢 龍文 教授 専 カント哲学、西洋近代思想

研 近代ドイツ思想、カントの道徳哲学

担 近代倫理学史研究Ⅰ 1・2/Ⅱ 1・2

星野 勉 教授 専 倫理学

研 ヘーゲル研究、近現代日本思想研究

担 近代ドイツ哲学史研究Ⅰ 1・2 比較思想研究Ⅱ 1・2

山口 誠一 教授 専 ドイツ近現代哲学（特にヘーゲルとニーチェ）

研 ヘーゲルからニーチェにいたるドイツ近現代哲学

担 実践哲学研究Ⅰ 1・2

■設置科目（2016 年度）※開講科目は年度により異なります。（ ）内は単位数

<修士課程>

言語分析哲学研究Ⅰ 1・2/Ⅱ 1・2（各2）

形而上学研究Ⅰ 1・2/Ⅱ 1・2（各2）

古代哲学史研究Ⅰ 1・2/Ⅱ 1・2（各2）

論理学研究Ⅰ 1・2/Ⅱ 1・2（各2）

近代倫理学史研究Ⅰ 1・2/Ⅱ 1・2（各2）

実践哲学研究Ⅰ 1・2/Ⅱ 1・2（各2）

近代ドイツ哲学史研究Ⅰ 1・2/Ⅱ 1・2（各2）

現代哲学研究Ⅰ 1・2（各2）

科学哲学研究Ⅰ 1・2/Ⅱ 1・2（各2）

比較思想研究Ⅰ 1・2/Ⅱ 1・2（各2）

近代西洋哲学研究Ⅰ 1・2（各2）

近代フランス哲学史研究Ⅰ 1・2/Ⅱ 1・2（各2）

超越論哲学研究Ⅰ 1・2/Ⅱ 1・2（各2）

ヨーロッパ精神史研究Ⅰ 1・2/Ⅱ 1・2（各2）

法哲学研究 1・2（各2）

哲学ドイツ語研究 1・2（各2）

哲学フランス語研究 1・2（各2）

哲学基礎研究Ⅰ /Ⅱ（各2）

<博士後期課程>

哲学特殊研究Ⅰ 1・2/Ⅱ 1・2/Ⅲ 1・2

哲学特研演習Ⅰ 1・2/Ⅱ 1・2

■修士生の研究テーマ

●機械論に抗うベルクソン

ー『試論』における因果性と自由の議論を中心にー

●ジョルジュ・バタイユの言語表現について

●カントの最高善と信

ー最高善を促進する義務の根拠

●プラトン『国家』におけるディアノイアの対象

ー教育とのかかわりー

●デカルト哲学における神の観念の認識についての考察

●マックス・シェーラーの倫理思想における愛と人格について

ー自己と他者との相互性をめぐってー

●様相論理 S5 における自然演繹体系とヒルベルト流体系との同等性